

# クロップス レポート

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素から格別のご高配を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

当社は平成23年9月30日をもって、第35期第2四半期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）が終了いたしましたので事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



代表取締役社長

小林 正明

第35期第2四半期 株主通信  
平成23年4月1日～平成23年9月30日

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当を実施する場合 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL：0120-232-711（通話料無料）
公告の方法	電子公告 <a href="http://www.aspir.co.jp/koukoku/9428/9428.html">http://www.aspir.co.jp/koukoku/9428/9428.html</a> *やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
単元株式数	100株

（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主優待制度のご案内

1単元（100株）以上所有の株主様に「東海地区の名産品」3,000円相当を年1回贈呈する株主優待制度を実施しております。

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主の皆様へお届けいたします。



平成23年3月期の株主優待品  
(平成23年6月贈呈 三重県名産品 詰め合わせ)

## auショップ3店舗を刷新

平成23年6月24日に「auショップ豊橋向山」、7月22日に「auショップ新安城」、9月16日に「auショップ瀬戸瀬港」を、それぞれリニューアルオープンいたしました。

引き続き便利にご利用いただけるよう、既存店舗の移転や店内レイアウトの工夫を行い、地域のお客様に愛される店舗づくりを実現してまいります。



auショップ瀬戸瀬港

## IRイベント、会社説明会の継続実施

第35期上半期は、平成23年7月15日、16日に開催されました名古屋証券取引所主催のIRイベント「名証IRエキスポ2011」に出展いたしました。当社ブースでは、ミニ説明会やブースツアーを開催し、当社の事業内容や業績について多くの方にご理解をいただくことができました。

また、平成23年8月26日には同じく名古屋証券取引所主催の「株式投資サマーセミナー」に参加いたしました。新社長のもと事業内容や成長戦略などを、ご来場いただいた大勢の方に知っていただくよい機会となりました。



## 「au CS AWARDS 2011中部大会」にて3位入賞

平成23年9月22日に開催されましたKDDI株式会社主催の「au CS AWARDS 2011中部大会」におきまして、当社社員が第3位に入賞いたしました。

この大会は、auショップスタッフの接客コンテストで、今回で8回目の開催となります。中部地区（愛知、岐阜、三重、静岡、長野）auショップスタッフ約1,900名のうちKDDI各支店の予選を勝ち抜いた12名のみが「ファイナリスト」の称号と中部大会への出場権が与えられます。

当社代表は、過去8大会全てにおいて中部大会への出場を果たしております。今回は当社から2名が「ファイナリスト」として中部大会へ出場いたしました。



# 会社概況

## 会社概要

(平成23年9月30日現在)

会社名 株式会社クロップス  
 英訳名 CROPS CORPORATION  
 本社 名古屋市中村区名駅四丁目23番9号  
 電話 052-586-5145(代表)  
 設立 昭和52年11月2日  
 代表者 代表取締役社長 小林正明  
 資本金 255,157千円  
 従業員数 199名  
 (グループ従業員数 1,094名  
 〈内、平均臨時雇用者数 645名〉)  
 事業内容 au携帯電話の販売および付随する  
 サービス全般  
 店舗数 40店舗〈直営〉  
 (愛知県:29 岐阜県:2 三重県:7 静岡県:2)  
 ホームページアドレス <http://www.crops.ne.jp/>  
 主要子会社 株式会社クロップス・クルー  
 いすゞビルメンテナンス株式会社  
 株式会社テンポリノバージョン  
 株式会社スガタ

## 役員の状況

(平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	小林正明
常務取締役	岡山浩二
取締役相談役	前田博史
取締役	森岡静佳
取締役	後藤久輝
取締役	飯田長
常勤監査役	塚本知明
社外監査役	杉浦恵祐
社外監査役	寺澤和哉

## 株式の状況

(平成23年9月30日現在)

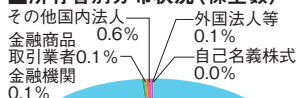
発行可能株式総数 37,600,000株  
 発行済株式総数 10,838,000株  
 株主数 5,141名  
 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	株式所有割合(%)
前田博史	3,008,800	27.76
株式会社アイ・イー・エイチ	2,240,000	20.66
小川幸久	1,220,680	11.26
前田由紀子	960,000	8.85
株式会社愛知銀行	497,900	4.59
KDDI株式会社	400,000	3.69
前田吉昭	320,000	2.95
株式会社商工組合中央金庫	220,000	2.02
名古屋鉄道株式会社	200,000	1.84
株式会社光通信	196,300	1.81

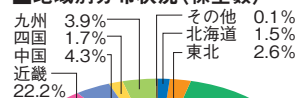
## 株式分布状況

(平成23年9月30日現在)

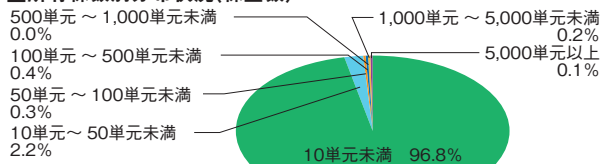
### 所有者別分布状況(株主数)



### 地域別分布状況(株主数)



### 所有株数別分布状況(株主数)



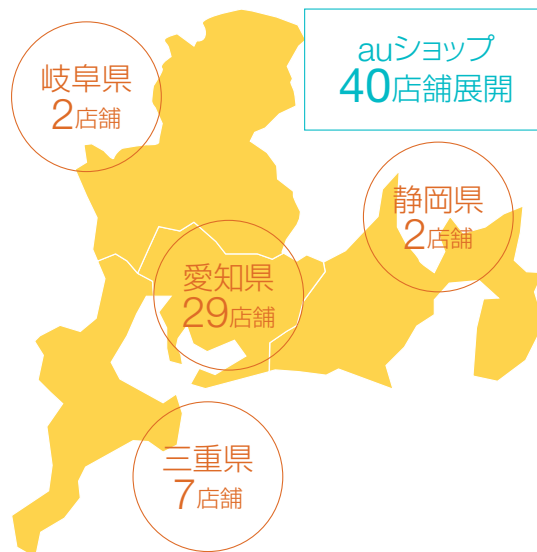
## クロップスグループの概要 (平成23年9月30日現在)

当社グループは、当社および子会社4社（株式会社クロップス・クルー、いすゞビルメンテナンス株式会社、株式会社テンポリノベーション、株式会社スガタ）により構成されています。当社では直営店による携帯電話の販売および附帯サービス全般等を行う移動体通信事業を営んでおります。また、株式会社クロップス・クルーでは一般労働者派遣・業務請負等を、いすゞビルメンテナンス株式会社では、清掃・設備管理・施設警備等を営み、株式会社テンポリノベーションでは、飲食店舗居抜き流通ビジネスを展開、株式会社スガタでは、輸入文具の企画・卸売販売を行っております。



auショップ三好南  
(東海地区最大級の大型店舗)

## 店舗展開状況 (平成23年9月30日現在)



# クロップス ワード

①		②	③	④	
	D				
		⑤			
⑥	⑦	B		C	
⑧			⑨		⑩
	⑪	⑫			
⑬	A				

すべてカタカナでご記入下さい。

## 【タテのカギ】

- お参りの時、神社で引くもの。○○○○。
- 本にはさんで目印にするもの。○○○。
- 煮干して○○をとる。
- 女性の人気者の例え。クラスの○○○○。
- 穴を掘る道具。○○○○。
- 最初に必要な費用を計算すること。○○○を立てる。
- 浦島太郎が助けた動物。○○。
- インドネシアの観光で有名な島の名前。○○島。

## 【ヨコのカギ】

- お正月に子供が楽しみにしているもの。○○○○○。
- 仲のよい夫婦のこと。○○○○夫婦。
- 病気になったら飲むもの。○○○。
- 起きてしまってからでは遅いもの。○○。
- 夜の遅い時間のこと。○○○。
- 鳥の羽のこと。○○○。
- 「春」を英語にすると、○○○○○。

答えがおわかりになった方は、右の応募用紙を切り取り、必要事項をご記入の上、郵便はがきに貼ってご応募下さい。

正解者の中から抽選で30名様に粗品を差し上げます。  
応募締め切り 平成24年1月20日（金）当日消印分まで有効  
発表 商品の発送をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、クイズ商品の発送のみに使用いたします。

アンケートにご協力下さい。

応募用紙のご回答欄に数字でお答え下さい。

- 株主様のプロフィールについて。  
① ~20代 ② 30代~40代 ③ 50代~60代 ④ 70代~
- 当社株式購入の理由について。  
① 成長性 ② 収益性 ③ 配当 ④ 優待 ⑤ 地元 ⑥ その他
- 当社株式の保有予定期間について。  
① 1年未満 ② 1~3年未満 ③ 3年以上 ④ 未定
- 当社が出席したIRイベントにご参加されましたか。  
① IRエキスポ2011 ② 株式投資サマーセミナー ③ その他

## ● 応募用紙

サ	A	B	メ	C	D
---	---	---	---	---	---

【ヒント】

クロップスグループは、「みなさまのサプリメントになること」を目指しております。

株主番号	株主番号は宛名の下に記載されている8桁の数字です。		
ご住所			
お名前			
アンケート ご回答	1.	2.	
	3.	4.	

✂ キリトリ

↓ はがきの宛先としてお使い下さい。

〒450-0002

名古屋市中村区名駅4丁目23-9  
株式会社クロップス IR担当

✂ キリトリ

# 業績概況 & トップ・メッセージ

第35期第2四半期の決算終了を機に、小林社長と管理部門担当の飯田取締役が「決算概況と今後の展望」をテーマにインタビューを行いました。以下はその要旨であります。

## 「第35期 第2四半期連結累計期間の概況」

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響により低下した企業の生産活動が、サプライチェーン復旧等による経済活動の正常化により急速に回復に向かっているものの、電力供給の制約、円高の進行や欧米の景気減速懸念等の不安要因によって、引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

このような市場環境にあつて、当社グループは既存顧客の確保と新規顧客の開拓に注力した営業活動を展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高10,265,101千円（前年同期比27.0%増）となりました。損益面におきましては営業利益475,461千円（前年同期比0.4%減）、経常利益485,522千円（前年同期比4.0%増）、四半期純利益247,290千円（前年同期比21.4%増）となりました。

事業セグメント別の概況は、次のとおりであります。

### ■移動体通信事業

移動体通信事業におきましては、国内の携帯電話契約件数が平成23年9月末現在で1億2千3百万件を超えており、移動体通信事業者各社におけるスマートフォンを中心とした新機種を発表、新たなコンテンツサービスの提供等により顧客獲得に向けた競争はますます激しくなっております。

営業活動におきましては、スマートフォン（IS series）、タブレット端末等の販売促進や800MHz帯周波数の切り替えに伴い平成24年7月22日をもって使用できなくなるau携帯電話を廃止されている顧客への機種変更促進等に注力いたしました。

また、総合的な営業力の強化を図るための“核店舗の大型化”を引き続き進めており、当第2四半期連結累計期間においては、3店舗のリニューアル（平成23年6月「auショップ豊橋向山」（愛知県豊橋市）、同年7月「auショップ新城」（愛知県安城市）、同年9月「auショップ瀬戸瀬港」（愛知県瀬戸市））を実施しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、5,249,094千円（前年同期比13.4%増）、営業利益は297,791千円（前年同期比19.7%減）となりました。

### ■人材派遣事業

人材派遣事業におきましては、営業効率のさらなる強化及び経費の圧縮に努めるとともに、積極的な営業活動に注力いたしました。が、景気の先行き不透明感による顧客企業の求人意欲の低下から長期契約の販売系派遣数が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,057,010千円（前年同期比9.8%減）、営業利益は46,825千円（前年同期比7.5%減）となりました。

### ■ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業におきましては、顧客企業のコスト削減意識の高まりによる単価の下落や同業他社との価格競争が激化する一方、新規顧客の開拓等営業活動及びコストダウンの推進に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,598,248千円（前年同期比1.3%増）、営業利益は52,420千円（前年同期比66.5%増）となりました。

### ■飲食店舗居抜き流通事業

飲食店舗居抜き流通事業におきましては、営業体制の拡大による収益力強化とともにWebサイト（居抜き店舗.com、店舗買取り.com）を積極活用した出店・退店希望者へのアプローチ、店舗物件開拓等の営業活動を展開いたしました。しかしながら、潜在的な首都圏への出店希望需要は依然として高いものの、震災後の自粛ムードや電力供給問題等による新規出店意欲の低下から契約件数が伸び悩み、持ち直しの傾向が見られるものの、厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、714,195千円（前年同期比7.9%減）、営業損失が2,319千円（前年同期は49,454千円の営業利益）となりました。

### ■文具事務用品卸事業

文具事務用品卸事業におきましては、消費者の節約志向は継続しているものの、大手文具販売店等への販売を中心に、堅調に推移し、高輝度LEDライトや卓上扇風機等のタイムリーな商品企画、商品販売に注力いたしました。また、100円ショップや通信販売会社への販売が堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,734,177千円、営業利益は111,246千円となりました。



飯田取締役  
（管理部門担当）

## 「クロップスグループの今後の展望」

### 【今後に向けた取り組み】

東日本大震災後の企業活動の落ち込みから徐々に持ち直しに転じているとはいえ、海外経済の減速、円高の進行などの不安材料もあり、先行きに関しては依然不透明さが残る中、当社グループ各事業においては、さらなるコスト削減と営業力強化などにより収益力を強化していくことが最重要課題であると考えております。



小林社長・飯田取締役



平成23年リニューアル auショップ豊橋向山

### （移動体通信事業）

移動体通信事業においては、販売台数全体に占めるスマートフォンの割合が増加していることに加えて、10月からは当社が取り扱っている「au」ブランドから大変人気の高いスマートフォンである「iPhone」が発売され、販売スタッフには、これまで以上に顧客の相談にきめ細かく対応できる幅広い商品知識とより高度な説明能力が求められており、販売スタッフ向け教育を強化し、顧客満足度の向上を図ってまいります。

また、核店舗の大型化、店舗の移転、改装の実施などによるauショップの営業力強化については引き続き取り組んでまいります。また、さらなる販売機会の拡大に向けたauショップの営業時間延長も検討しております。

このような取り組みにより、店舗の営業力の強化を図り、収益力を強化してまいります。

### （人材派遣事業）

人材派遣事業は、今後震災からの復興需要が下支えとなり徐々に景況感が改善するとともに派遣需要も回復していくことが見込まれます。しかしながら、労働者派遣法改正の見通しが立たない中、専門26業務派遣適正化プランへの厳格な対応も求められており、派遣需要はやや上向きではあるものの、依然として厳しい状況が続くと見ております。

そのような中で、売上の確実な積み上げができるよう、派遣先企業様の中でのニーズが高まっております。外国語業務や高齢者派遣への対応強化や業務の請負化の提案・受注を図るべく、努力してまいります。

### （ビルメンテナンス事業）

ビルメンテナンス事業においては、震災後の電力不足、円高の進行などによる顧客企業の業績悪化による単価の下落傾向が続くと見ております。

従来からビル管理コストの低減活動に取り組んでおりますが、これらの取り組みをさらに向上させ、営業力を強化し、新規顧客の獲得、既存顧客の新たな物件の獲得を進め、高い作業品質の提供により顧客満足度を向上させ、収益力を強化していくことが課題と考えております。

### （飲食店舗居抜き流通事業）

飲食店舗居抜き流通事業においては、当社の営業エリアである首都圏において、当社がターゲットとする中規模・小規模の飲食店舗の出店需要は堅調に推移しております。

景気の悪化による開業店舗の規模縮小傾向や競合他社の参入により1物件当たりの単価は下落傾向にあります。営業体制の整備による収益力強化、Webサイト（居抜き店舗.com、店舗買取り.com）を積極活用した出店・退店希望者へのアプローチを通して顧客獲得を図ってまいります。

### （文具事務用品卸事業）

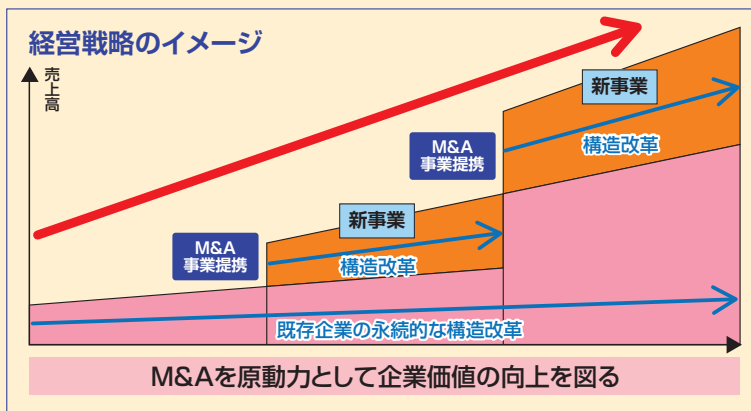
文具事務用品卸事業については、国内文具市場において一定の安定した需要が望めると見ております。

これまでの中国や台湾などのメーカーだけでなく、さらにコスト削減効果の高い仕入先の開拓、販路の拡大、競争力の高い新商品の企画などに取り組み収益力強化を図っております。

### 【グループの強化・拡充】

（グループの成長戦略）

当社グループは、グループ各社が持続的な構造改革を続け収益性を高めつつ、事業提携・M&Aを活用し、新規事業分野を開拓していくことにより当社グループ全体の拡大・成長につなげたいと考えております。



クロップスグループ成長イメージ

### 〈連結ベースの実績と予想〉

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
平成24年3月期予想	19,895 (117.3%)	800 (101.4%)	790 (101.4%)	400 (121.2%)
平成23年3月期実績	16,958	788	779	330
平成23年9月第2四半期実績	10,265 (127.0%)	475 (99.6%)	485 (104.0%)	247 (121.4%)
平成22年9月第2四半期実績	8,085	477	466	203

※（ ）内比率は、対前年比。



小林社長

### （みなさまのサプリメント）

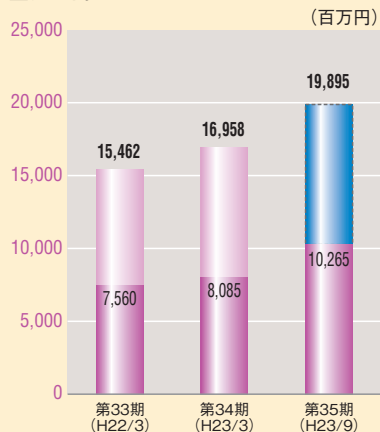
当社グループは「みなさまのサプリメントになること」を目指しております。

グループの経営理念である、「社会との共生を回り、持続的な発展を続けること」にもあるように、皆様（お客様、アライアンス先の大手企業様、株主様、社員、社員の家族、その他全てのステークホルダー様）が当社グループとかわりを持つことで、より良い状態になることが重要であると考えております。

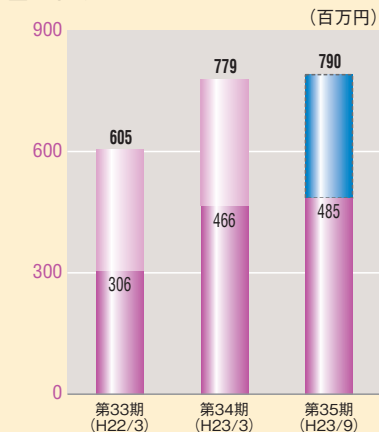
当社グループを取り巻く全ての皆様との共生により、持続的な企業価値の向上とともに健全な企業グループとして成長していきたいと考えております。

## 財務ハイライト

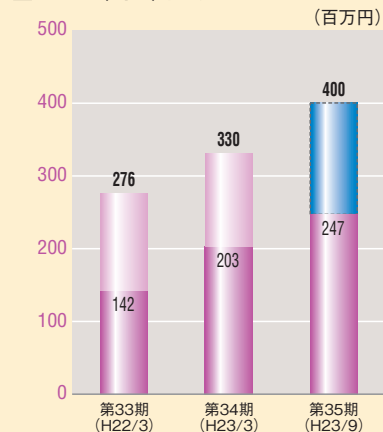
### ■売上高



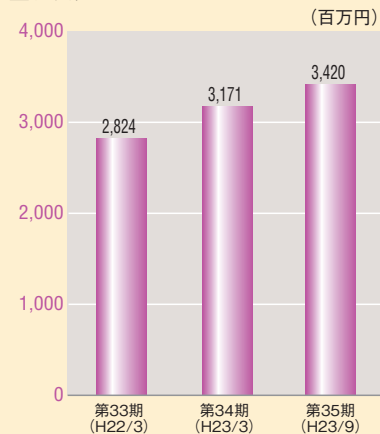
### ■経常利益



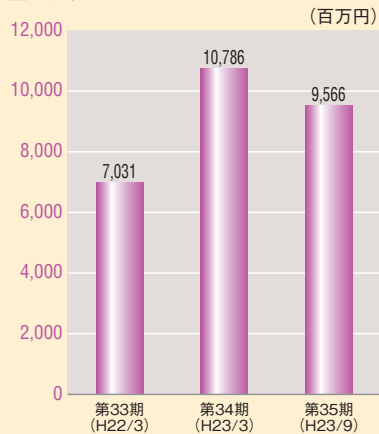
### ■四半期(当期)純利益



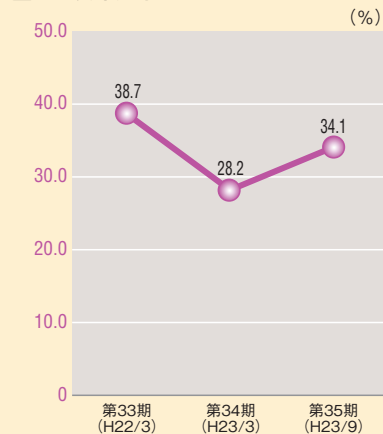
### ■純資産



### ■総資産



### ■自己資本比率



(注) ■は通期の予想値です。

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)	科目	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)
<b>（資産の部）</b>			<b>（負債の部）</b>		
<b>流動資産</b>			<b>流動負債</b>		
現金及び預金	1,803,078	2,888,022	支払手形及び買掛金	1,075,083	1,111,289
受取手形及び売掛金	1,799,224	2,056,428	短期借入金	1,350,000	2,650,000
商品	1,255,882	1,072,933	1年内返済予定の長期借入金	504,279	464,319
貯蔵品	2,538	2,896	未払金	510,276	604,266
繰延税金資産	149,847	149,847	未払法人税等	218,344	232,209
その他	220,983	288,571	賞与引当金	199,444	183,459
貸倒引当金	△8,758	△22,152	その他	348,418	389,274
<b>流動資産合計</b>	<b>5,222,796</b>	<b>6,436,547</b>	<b>流動負債合計</b>	<b>4,205,847</b>	<b>5,634,819</b>
<b>固定資産</b>			<b>固定負債</b>		
有形固定資産			長期借入金	790,790	879,560
建物及び構築物	856,731	870,298	退職給付引当金	159,434	173,386
貸与資産	25,530	50,377	役員退職慰労引当金	7,315	14,365
土地	1,337,547	1,337,547	長期預り保証金	737,151	671,350
その他	76,228	66,073	資産除去債務	88,036	87,733
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,296,038</b>	<b>2,324,296</b>	その他	158,049	153,664
無形固定資産			<b>固定負債合計</b>	<b>1,940,776</b>	<b>1,980,060</b>
のれん	274,740	308,906	<b>負債合計</b>	<b>6,146,624</b>	<b>7,614,879</b>
その他	54,656	41,460	<b>（純資産の部）</b>		
<b>無形固定資産合計</b>	<b>329,397</b>	<b>350,367</b>	<b>株主資本</b>		
投資その他の資産			資本金	255,157	255,157
投資有価証券	345,208	348,685	資本剰余金	315,278	315,278
差入保証金	1,004,218	949,727	利益剰余金	2,618,995	2,387,961
繰延税金資産	226,505	227,364	自己株式	△91	△61
その他	150,176	164,599	<b>株主資本合計</b>	<b>3,189,339</b>	<b>2,958,335</b>
貸倒引当金	△7,556	△14,771	<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,718,553</b>	<b>1,675,606</b>	その他有価証券評価差額金	73,901	78,434
<b>固定資産合計</b>	<b>4,343,988</b>	<b>4,350,269</b>	<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>73,901</b>	<b>78,434</b>
			新株予約権	1,805	1,128
			少数株主持分	155,113	134,038
			<b>純資産合計</b>	<b>3,420,160</b>	<b>3,171,937</b>
<b>資産合計</b>	<b>9,566,785</b>	<b>10,786,817</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>9,566,785</b>	<b>10,786,817</b>

**連結損益計算書（要旨）**

（単位：千円）

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）
売上高	10,265,101	8,085,729	16,958,333
売上原価	7,803,806	5,991,257	12,708,106
<b>売上総利益</b>	<b>2,461,295</b>	<b>2,094,471</b>	<b>4,250,227</b>
販売費及び一般管理費	1,985,834	1,617,106	3,461,473
<b>営業利益</b>	<b>475,461</b>	<b>477,365</b>	<b>788,753</b>
営業外収益	28,333	36,705	69,461
営業外費用	18,272	47,107	78,870
<b>経常利益</b>	<b>485,522</b>	<b>466,963</b>	<b>779,344</b>
特別利益	1,466	—	10,330
特別損失	1,686	126,109	187,594
<b>税金等調整前四半期 (当期)純利益</b>	<b>485,303</b>	<b>340,854</b>	<b>602,079</b>
法人税等	214,724	120,755	241,345
<b>少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益</b>	<b>270,578</b>	<b>220,098</b>	<b>360,733</b>
少数株主利益	23,288	16,368	30,671
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>247,290</b>	<b>203,730</b>	<b>330,061</b>

**連結キャッシュ・フロー計算書**

（単位：千円）

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）
営業活動による キャッシュ・フロー	389,216	527,182	426,314
投資活動による キャッシュ・フロー	△107,414	△165,706	△1,382,272
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,367,345	1,442,746	2,724,163
現金及び現金同等物の 増減額(△減少額)	△1,085,544	1,804,223	1,768,205
現金及び現金同等物の 期首残高	2,840,050	1,071,845	1,071,845
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,754,506	2,876,068	2,840,050